令和4年度

第2回 国内英語イマージョンプログラム

1. **プログラムの目的**

国内英語イマージョンプログラムでは、ネイティブスピーカー講師の指導による英語づけ（immersion=没頭・浸すこと）の生活環境により英語の実践能力及び国際理解力の向上を目指します。

英語実践能力（会話力、ディスカッション力、聴解力）の向上を目指した週末や夏休み中の2日間程度の短期集中コースを実施します。研修期間中は英語のみを使用し、英語を話すことへの抵抗をなくし、海外研修に参加する自信と英語でのコミュニケーション力を向上させます。

1. **2回目プログラム内容**

2回目のプログラムでは、英語をコミュニケーションツールとして、仲間同士で協働して課題遂行をする学習をします。誰でも知っているおとぎ話の「アフターストーリー」をグループで創作し、劇として発表します。課題をこなす過程で、英語でのコミュニケーション力に加えてリスニング力、およびスピーキング力を強化します。1日目はおとぎ話の決定とアフターストーリーを考え、2日目に劇の創作・発表を行います。 両日とも、鳥取県若桜町にある廃校を再利用した「隼Lab.」の施設内で実施します。

　　＊「隼Lab.」は、地域活性化の取り組みの具体的な様子やグローバル企業と地域の関わりの現実が見られる施設。

**研修期間**

令和4年　①9月28日(水) 9：45～16：30、　②9月29日(木) 9：45～16：00

1. **研修場所**

1日目：隼Lab.（鳥取県八頭郡八頭町三槻中154-2、<https://hayabusa-lab.com>）

2日目：隼Lab.（鳥取県八頭郡八頭町三槻中154-2、<https://hayabusa-lab.com>）

※湖山キャンパスから隼Lab.までは、バスで移動

1. **スケジュール**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **日にち** | **時間** | **内容** |
| 9/28(水) | 9：00 | 湖山キャンパス集合・移動 |
| 9:45-10:15 | イマージョンプログラムの目的、ルール説明講師、TAの紹介、グループ分け |
| 10:15-12:00 | アイスブレイク |
| 12:00-13:00 | 昼食 |
| 13：00-16:00 | グループワーク（おとぎ話の決定、アフターストーリーを考える、劇創作） |
| 16:15-16:45 | 湖山キャンパスへ移動 |
|  | 必要ならオンライン（各自宅）にてグループワーク |
| 9/29(木) | 9：00 | 湖山キャンパス集合・移動 |
| 9:45-12:00 | 劇の創作・練習 |
| 12:00-13:00 | 昼食 |
| 13：00-13：30 | 発表内容最終チェック |
| 13：30-15:00 | プレゼン発表、先生からのアドバイス、Q＆A |
| 15:00-15:30 | Closing、ふりかえり、写真撮影 |
| 15:30-16:00 | 湖山キャンパスへ移動、解散 |

1. **講師**

大谷ショーン（オーストラリア出身）、TA(鳥取大学の留学生)

1. **参加費用**

**プログラム自体は無料**

※鳥取キャンパス集合解散のため、鳥取キャンパスまでの交通費、昼食代等は各自負担

1. **応募条件**

全学部生、大学院生、留学生　※応募者多数の場合は、学部生を優先します

1. **募集人員・選考方法**

募集人数：最大１5名　　※応募者が６名に達しない場合は実施しません

選考方法：応募書類、TOEIC・英検等により総合的に判断し、決定します

1. **募集期間・応募方法**

応募締切：8月21日(日)２３：５９

応募方法：以下のHPからオンラインで応募してください。

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/online-application/R4-Immersion-apply>

1. **参加者決定**

参加候補者の発表は8月26日(金)までにメールで行います。必ずメールをご確認ください

1. **研修後の提出物**

研修後にオンラインアンケートのご回答をお願いします

1. **その他**

**コロナ感染症の状況により、変更またはキャンセルの可能性があります**

**問い合わせ先**

国際交流課国際交流係

E-mail: kokuko-renkei@ml.adm.tottori-u.ac.jp

電話: 0857-31-5052

教養教育センター　　　重松　恵梨　准教授

国際交流センター　池田　玲子　教授